

健康づくり推進実施計画に基づく今後の働きかけについて

平成 25 年度は、働き盛り世代の健康づくりの取組を一層促進するため、「健康ひょうご 21 大作戦」の推進体制に「企業」を加え、新たに「健康づくりチャレンジ企業」の登録制度を創設し、企業と連携して、従業員や家族の健康づくりを積極的に推進している。

1 働き盛り世代やその家族に関する主な推進施策（H25 年度～）

- (1) 基盤整備
 - ・企業との協働による健康づくり促進事業
健康づくりチャレンジ企業の募集・登録、健康づくり支援メニュー 他
 - ・食の健康協力店制度の推進
- (2) 生活習慣病予防等の健康づくり
 - ・特定健診、がん検診の実施促進
- (3) 歯及び口腔の健康づくり
 - ・事業所成人歯科健診の実施
- (4) こころの健康づくり
 - ・うつチェック、ストレスチェックの実施

2 現状と課題

- (1) 平成 13 年度から開始した健康ひょうご 21 大作戦において、個人の健康づくりへの啓発、実践活動を支援してきたが、働き盛り世代を中心に約 3 割の数値目標が悪化している。
- (2) 企業団体の総会、研修会などで健康づくりチャレンジ企業制度を PR しているが、登録した支援メニューの活用が伸び悩んでいる。
 - ・健康づくりチャレンジ企業登録数：102 社（H25.10.1 現在）
 - ・周知方法：新聞（ネット含） 機関誌、啓発チラシ配付 4 万枚（H25 年 9 月末）

〔働き盛り世代（成人期）の健康づくりの課題〕

区分	内容	
生活習慣病予防	健康チェック	・特定健診未受診者が 6 割（特に中小企業従業員と被扶養者の受診率が低い） ・メタボリック該当者が 40 代以降で増加傾向、予備群も同様。 ・要治療でも放置している者が 4 割（30 代、糖尿病の場合）。 ・健診未受診の理由は、「面倒」「時間がない」「必要を感じない」。
	運動	・運動習慣が定着していない者が 7 割。
	食生活	・朝食を食べない人の割合が 20～30 代で男女とも他の年代より高い。 ・野菜不足の一方で脂肪摂取が多い。
	たばこ	・20～40 代の喫煙率が高い。
歯及び口腔	・進行した歯周病を有するものの割合が 40 代で約 4 割と急激に増加。	
こころ	・自殺者数の 6 割が働き盛り世代層である。	

3 ご意見をいただきたい事

働き盛り世代の健康づくりを促進するために、企業、行政（県、市町）、健康づくりに取り組む団体は、何をすべきか。（何ができるか）

- (1) 県民の立場から
- (2) 行政の立場と市町・県の役割分担
- (3) 健康づくりを支援する団体の立場から
- (4) 企業、健康づくりを支援する団体、行政（県・市）の連携を促進するために必要となる要素

（参考）健康づくりを推進するための体制図

